

医療と国際化と地元愛  
港区と区議会をもっと身近に

# THE OGURA TIMES

港区議会議員 小倉りえこ



プロフィール

- 麻布十番出身 ●港区立東町小学校卒 ●米国サウスカロライナ大理学部卒
- バイオベンチャー・製薬企業の新薬臨床開発職を経て2015年初当選
- 「医療と国際化と地元愛」特化型で現在2期目 ●港区議会 自民党議員団

〒106-0047 港区南麻布1-4-21-601 <https://ogura-rieko.com>

ホームページにて議会報告・個人レポート、徒然エッセイなど随時更新中



HP



YouTube

初当選から8年目となりました。出来ることをひとつずつ、初心を忘れず、地域のために真摯に取り組んでいます。みなさんのお声が小倉りえこの政策です。教育、産業支援、医療、福祉など幅広い分野で提案が採用されています。

## 縦割り行政解消を目指して

11/24~12/2まで、港区議会定例会が開催され、質問に登壇しました。

今回の質問において、港区の抱える大きな課題は、何と言っても**縦割り行政**であると改めての指摘をしています。

8項目20問。区政の幅広い課題に対する認識、区民生活を豊かに繋げるための提案を行い、区長・教育長の見解を確認しました。

役割分担の押し付け合いを少しでも解消できるよう、分野横断的な取り組みを進めてもらうよう強く要請しました。



## 質問項目

- 令和5年度予算編成方針
- コロナ禍・円安及び物価高騰への支援
  - 窓口手数料減免の延長
  - 商品券事業
- 区のDX推進
- 安心して暮らしていくための支援
  - 居住継続のための制度新設
  - 介護人材確保のための区の独自支援
  - 子供への直接的支援の拡充
- 相談から支援に繋げる仕組み
  - 福祉総合窓口運用に伴う課題
  - 区立小中学生のタブレット端末活用
- 全庁で推進する総合的な健康づくり施策
- 住み続けられるまちづくり
  - 地区まちづくりビジョン、麻布通り暫定駐輪場
- 危機管理
  - AED設置拡大
  - 雨量・水位情報の周知

異なる所管課の連携で、すぐに改善がされることになった2点：



区立小中学生に配布のタブレットから、悩みを抱える子供向けの相談事業へアクセスが可能に。匿名性は担保されます。



大雨や古川の水位上昇に関する防災無線や防災情報が発出された際、雨量や古川水位が視覚的にわかるページへのリンクを表示する改修を実施（4か国語対応）。

雨量・水位



## 区内にAED設置拡大を



防災訓練などでAEDの使い方を学ぶ機会が増えました。しかし、【いざという時】にAEDがどこに置いてあるのか、知らない方も少なくありません。

港区ではHPにAED設置の場所を確認できる全国AEDマップへのリンクがあります。

現在は、24時間使用可能な場所は多くありません。

24時間、必要な時に使えるAEDがある場所を増やし、同時にたくさんの方が【いざという時】に使えるような取り組みが必要と訴えました。



AED マップ



## 電子商品券の利用可能店舗拡大策を！

2月から3月にかけて、港区では合計30億円を超える過去最大額となる商品券が流通します。

基本的に、商品券取り扱いができる店舗は商店街組織に加盟している店舗に限られています。

2023.2予定  
プレミアム商品券

10億円分  
(紙・電子合計)

2023.3予定  
子育て応援商品券

20億円超！  
子供ひとりあたり電子5万円分  
(1月中旬に申請案内郵送)

### 港区商店街連合会

#### 加盟商店街

区から様々な支援

#### 加盟店舗

商品券取り扱い可能

区から様々な支援

商品券事業を知らない商店街非加盟店舗も多いため、区からも積極的な情報発信を要請しました。情報の周知は、各商店街からだけでは足りません。

商品券の中でも、特に電子券が利用可能な店舗の増加に向けて、複数の所管課と連携して実現できるよう働きかけをしています。

これまで商品券のことを知らない事業者へ情報を発信することで、商品券の取扱店に興味を持ち、商店街加盟進にも効果があると、区長の見解も同じであると確認できました。

港区内で商品券事業を知らない店舗と区民を限りなくゼロにし、魅力を感じて商品券取り扱い店舗が増えるように、今後も真剣に取り組めます。



予約不要ワクチン接種  
継続中

1月は水曜・金曜・土曜



防災無線がよく聞こえる  
防災ラジオ  
(1世帯1台 1,000円)

防災課 防災係  
03-3578-2541

## 窓口手数料減免の延長を要望

港区ではコロナ禍支援の一環として、窓口などでの各種手続き手数料の免除が継続して行われています。

コロナの影響はまだ続き、更に円安や物価高騰の影響も大きくなりました。まだこの支援の継続が必要です。

住民票や戸籍謄本、区内中小事業者の飲食店営業許可証手数料など、年間約35万件。年間約2億1,000万円分の減収ですが、免除を続けています。

減免は3月末までとなっていますが、少しでも暮らしや事業の支援をする必要があると考え、期間の延長を要望しました。検討するとのこと。

理美容・クリーニング等環境衛生業等  
飲食店・食品業等  
医療関係施設・薬局・医薬品販売業等も



港区窓口等での  
手数料減免対象一覧

## 麻布通り暫定駐輪場は撤去方向?

暫定利用継続を要望していますが、残念ながら東京都との協議が進みません。一の橋公園内駐輪場が開設後、都道上の駐輪場は、少なくとも一旦撤去となります。並行して切り替えの準備も必要です。

定期利用者へは、スケジュールや優先切り替え案内のお知らせが郵送されるとのことです。



港区駐輪場一覧



## 請願審査を改めて考える

自民党議員団はひとつの請願の「継続審査」を主張しました。来年4月までの任期の中で積極的に関わり、残り数ヶ月の間に確実に目に見える改善に繋げようとして主張しました。

複雑に絡む行政の縦割り課題を整理することなく、もっと詳しく現場の調査をせず、何ができるか一緒に考えて行くことをせず、やみくもに採択とするのは無責任と考えているからこそ、「継続審査主張のため、今すぐ判断することに反対」と表明しました。

港区議会では、請願を採択することのみを目的に、区民からの願いを政治利用し、自らの利のために動く会派が後を絶ちません。

自民党議員団が採択に反対したこと、過半数に満たなかったと伝えられる場合、その理由や全容は語られることはほとんどありません。

積極的関与の主張は否決されましたが、元より改善することをお約束しています。ご理解のほど、よろしくお願いたします。

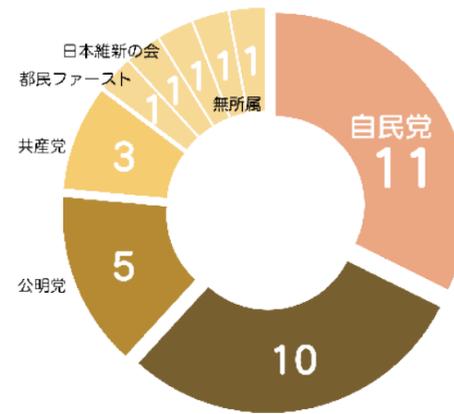
## 「継続審査」で確認しながら目に見える改善を実現すべき



反対討論のため急遽登壇し、見解を述べました

## 港区議会

政党離党などの理由で会派が増減することも。自民党は単独政党構成の最大会派。



立憲民主 4 国民民主 3 無所属 3

## 女性議員比率



自民党11名のうち、女性は3名。区議会全体でも12名、約1/3。

**34**  
港区議会議員 定数

**200,000**  
有権者は約20万人

**35.37%**  
2019年 区議選投票率

## 行政視察

昨年11月、熊本市の慈恵病院で「こうのとりのゆりかご」を、福岡市役所で子供から若者の相談事業について、話を伺ってきました。

匿名性や、相談から支援の流れを考えさせられました。区立小中学生のタブレット相談については、すぐに港区で反映することができました。



## 医療連携強化

港区内の医療機関が感染症における連携を強化すべく、協議会が立ち上がりました。港区は保健所が協議会運営を支援しています。

コロナ発生当初、連携がスムーズに行われず入院調整が難しかったことを挙げ、今後はモデルケースとなるよう努めたいと、医療機関の強い思いがあります。



2期8年。様々な提案や取り組みがカタチに。港区の支援をご活用ください。



港区 HP

「港区なら打てる」誰でもワクチン接種



港区の取り組みは今や全国トップクラス

防犯カメラ 無償貸与事業	難聴高齢者 補聴器購入助成	教科担任制度 区立小へ先行導入	がけ・擁壁改修 工事助成増額	区立小中学校 日本語学級増設	がん患者のための ウィッグ助成
-----------------	------------------	--------------------	-------------------	-------------------	--------------------

